

+++++

書名：東国の群集墳

編者：広瀬 和雄 太田博之 田中 裕 日高 慎

価格：6,600 円

初版年月日：2025/1/25

ISBN コード：978-4-639-03022-5

体裁：22cm/A5 判上製・カバー/236 頁

内容紹介：群集墳とは何か。東国各地の群集墳造営の多様な実態を俯瞰した上で、主要な論点を検討し、新たな古墳時代像を構築する。

+++++

第1章 群集墳研究の現在と課題

群集墳の形成と展開—古墳時代における中間層の政治的創出—（広瀬和雄）

群集墳論研究史（日高 慎）

「多数高密度型」群集墳の成立とその意義（田中 裕）

第2章 東国における群集墳造営の画期

茨城（田中 裕）

栃木（賀来孝代・足立佳代）

群馬（加部二生）

埼玉（太田博之）

千葉（小沢 洋）

東京（紺野英二）

神奈川（柏木善治）

東国における群集墳造営の諸画期（太田博之）

東国の群集墳・横穴墓群分布図

第3章 群集墳の形成と構成

初期群集墳の形成過程と群構成（小森哲也）

群集墳の群構成（池上 悟）

飯塚・藤井古墳群にみる首長墓と群集墳（秋元陽光）

群馬県における首長墓と群集墳（加部二生）

第4章 群集墳の被葬者

群集墳の被葬者層—東京・神奈川—（柏木善治）

群集墳の変質と被葬者像—南武蔵を中心として—（松崎元樹）

関東西部地域における中期群集墳の被葬者（太田博之）

群集墳論関係論文一覧（日高 慎）

+++++